

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# コマなく さんぽ



新宿区

## 夏目漱石が暮らした新宿に生まれた、 漱石にとって初の本格的記念館 「漱石山房記念館」

明治の文豪・夏目漱石が生んだ数々の作品は時を超え、今も多くのひとたちに愛読され続けています。その夏目漱石が生まれ育ち、亡くなるまでの数年間を過ごした新宿区に開館した「漱石山房記念館」をご紹介します。

### 夏目漱石の終の住処 「漱石山房」

時代を超えて今も愛読され続ける作品を、いくつも生み出した国民的文豪・夏目漱石。その作品はいくつか知っていても、彼が生まれ育ち晩年を過ごしたのが新宿区だということをご存知ない方も多いのではないでしょうか? 漱石は、1867年(慶応3年)に新宿に生まれ、1916年(大正5年)に亡くなるまでの9年間を、生家にほど近い「漱石山房」と呼ばれた家で暮らしました。現在の新宿区早稲田南町にあったこの家では、『三四郎』『こゝろ』『道草』など数々の名作が執筆され、漱石を慕う若き文学者たちが集う「木曜会」が催されていました。漱石山房は漱石没後の1920年(大正9年)に、書斎、客間、ベランダ式回廊のみを残し、母屋は建て替えられましたが、1945年(昭和20年)5月の空襲ですべて消失しました。

### 漱石文学を生んだ空間を再現

2017年(平成29年)9月、漱石山房があった早稲田南町7番地に、漱石生誕150周年を記念して「漱石山房記念館」が開館しました。この施設では、漱石の生涯やその作品、人物像などをグラフィックパネルなどで紹介するとともに、2階の展示室では、実物の原稿や草稿、書簡なども展示しています。

最大の見どころは、漱石の書斎と客間、ベランダ式回廊を再現した展示です。この再現にあたっては、資料や旧蔵書を所蔵する県立神奈川近代文学館、東北大学附属図書館の格段の協力をいただきました。漱石好きであれば、晩年の作品が生み出された書斎と、漱石を慕う人々が毎週集まった「木曜会」が催された客間、漱石が眺めた風景を想像させるベランダ式回廊の再現展示に心躍ることでしょう。

### 漱石を知らないひとにも気軽に

館内にはブックカフェがあり、漱石の作品を閲覧しながら漱石にちなんだオリジナルメニューを楽しむことができます。同館隣には、夏目家が飼っていた猫や犬の供養のために建てた「猫の墓」がある「漱石公園」があります。少し歩くと、漱石の生家跡に建つ記念碑を見ることがもできます。記念館を訪れたついでに、漱石ゆかりのまち歩きをしてみるのも楽しいでしょう。作品を読んだことがないというひとからコアなファンまで、その人なりの漱石を知ることができる漱石山房記念館に、ぜひ一度足を運んでみてください。



漱石紹介の導入展示(無料)



漱石山房の書斎(有料)



資料展示(有料)



関連図書が閲覧できる図書室(無料)



ベランダ式回廊(有料)



漱石公園の猫の墓

年に数回のテーマ展示や特別展を開催しています。

《通常展》テーマ展示

「人と人をつなぐことば 寄贈・寄託資料から」

12月4日(火)～3月10日(日)

近年寄贈・寄託を受けた資料を中心にをご紹介します。

### 新宿区立漱石山房記念館

所在地 新宿区早稲田南町7番地

開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は直後の平日)、年末年始

入館料 通常展／一般¥300、小・中学生¥100

※団体(20人以上)は個人の観覧料の半額

※特別展等の開催時の観覧料は、内容により変わります。

※障害者手帳等をお持ちの方は、受付にご提示いただくと観覧料が無料になります。

アクセス 【電車】東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分

都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

【バス】都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

お問合わせ 03-3205-0209